



平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月10日

上場会社名 株式会社イメージワン 上場取引所 東
 コード番号 2667 URL <http://www.imageone.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高田 康廣
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 鵜飼 良一 (TEL) 03-6233-3410
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の業績（平成27年10月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	231	12.3	△31	—	△33	—	△34	—
27年9月期第1四半期	205	2.4	△69	—	△73	—	△74	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年9月期第1四半期	△8.95		—					
27年9月期第1四半期	△21.58		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第1四半期	1,018	481	47.1
27年9月期	1,280	468	36.4

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 479百万円 27年9月期 466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	1,450	17.0	50	—	35	—	30	—	7.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期累計期間における業績予想は行っておりません。
 当社の事業の特性から、第2四半期累計期間の変動幅があるため、第2四半期累計期間における業績予想の発表は控えていただいております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年9月期1Q	4,051,100株	27年9月期	3,951,100株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年9月期1Q	74,500株	27年9月期	74,500株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年9月期1Q	3,908,320株	27年9月期1Q	3,446,600株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響が見られるものの、緩やかな回復を続けております。設備投資は企業収益が改善を続けるなかで、緩やかな増加基調にあります。また、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費は底堅く推移しております。先行きにつきましても、景気は緩やかな回復を続けていくものと見られております。

一方、当社を取り巻く事業環境としましては、主要分野である医療業界におきまして、高齢化社会の急激な進行に伴う社会構造の変化に対応した医療・介護サービス体制の構築が急務とされております。このような全体の動きの中で、医療機関のみならず地域行政や介護施設も含めた効率的な連携が必要とされており、診療情報の電子化など、医療IT技術の必要性はこれまで以上に高まっていくことが予想されております。

このような経営環境において、当社は平成28年9月期を中期経営計画の初年度と位置づけ、中期経営計画の基本方針である再成長への転換と安定収益体制の確立を実現するため、医療画像事業における商品競争力の向上、在宅医療・介護福祉分野における新規事業の展開、製品原価の圧縮、の三点を当期の重点施策とし、事業を展開してまいりました。

医療画像事業においては、仕入の全工程における業務の見直しを行い原価の低減に努めた他、在宅医療・介護福祉分野で展開するduranta(テレメトリー式心電計)事業において不整脈に関する共同研究を聖マリアンナ医科大学と開始いたしました。また、衛星画像事業においてはUAV(ドローン)関連の製品や、FieldSpec4(携帯型分光放射計)の販売に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高231百万円(前年同期比12.3%増)、営業損失31百万円(前年同期は69百万円の損失)、経常損失33百万円(同73百万円の損失)、四半期純損失は34百万円(同74百万円の損失)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

医療画像事業

当第1四半期累計期間の医療画像事業セグメントは前期に受注したPACS(医療画像保管・配信・表示システム)の大型案件が売上計上されたこと等により、売上高210百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益12百万円(前年同期は10百万円の損失)となりました。

医療画像事業全般においては、仕入の製品構成の見直しなどコスト削減を実施し、またシステム導入の効率化に注力するなど、利益率の向上に取り組んでまいりました。また在宅医療・介護福祉分野で展開するduranta事業において、聖マリアンナ医科大学と不整脈を早期発見することで重大な脳卒中の発症や再発を予防するための共同研究を開始いたしました。

衛星画像事業

当第1四半期累計期間の衛星画像事業セグメントは売上高20百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益2百万円(前年同期は6百万円の損失)となりました。

UAV関連のソフトウェアであるPix4Dmapper(自動オルソモザイク&3D処理ソフトウェア)やFieldSpec4の売上が堅調に推移した結果、売上・利益ともに前年実績からの改善を達成できました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、811百万円(前事業年度末比24.5%減)となりました。これは、売掛金が166百万円、現金及び預金が113百万円減少したこと等によります。

固定資産は、206百万円(同0.4%増)となりました。これは、工具、器具及び備品が7百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、1,018百万円(同20.5%減)となりました。

(負債)

流動負債は、285百万円(前事業年度末比47.1%減)となりました。これは、買掛金が152百万円、短期借入金が100百万円減少したこと等によります。

固定負債は、251百万円(同7.9%減)となりました。これは、長期借入金が21百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、536百万円(同34.0%減)となりました。

(純資産)

純資産合計は、481百万円(前事業年度末比2.8%増)となりました。これは、資本金が24百万円、資本剰余金が24百万円増加し、利益剰余金が34百万円減少したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期(通期)の業績予想につきましては、平成27年11月9日付「平成27年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	624,583	511,340
売掛金	380,153	213,884
商品	18,950	10,152
仕掛品	27,319	47,158
貯蔵品	317	1,208
その他	23,509	27,734
貸倒引当金	△129	△72
流動資産合計	1,074,703	811,406
固定資産		
有形固定資産	39,882	44,964
無形固定資産		
ソフトウェア	96,459	107,797
その他	17,059	2,079
無形固定資産合計	113,518	109,877
投資その他の資産		
投資有価証券	1,762	1,762
その他	50,845	50,200
投資その他の資産合計	52,607	51,962
固定資産合計	206,007	206,804
資産合計	1,280,710	1,018,211
負債の部		
流動負債		
買掛金	280,846	127,897
短期借入金	100,000	-
1年内償還予定の社債	14,200	14,200
1年内返済予定の長期借入金	85,992	85,992
未払法人税等	3,969	2,441
リース債務	627	630
製品保証引当金	9,905	2,912
その他	43,984	51,105
流動負債合計	539,525	285,179
固定負債		
社債	36,100	36,100
長期借入金	232,793	211,295
リース債務	2,223	2,064
退職給付引当金	1,537	1,704
固定負債合計	272,653	251,164
負債合計	812,178	536,343

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,053,492	1,077,797
資本剰余金	196,490	220,795
利益剰余金	△671,880	△706,845
自己株式	△111,949	△111,949
株主資本合計	466,153	479,797
新株予約権	2,379	2,070
純資産合計	468,532	481,867
負債純資産合計	1,280,710	1,018,211

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	205,778	231,025
売上原価	148,700	154,013
売上総利益	57,077	77,012
販売費及び一般管理費	126,462	108,049
営業損失(△)	△69,384	△31,037
営業外収益		
受取利息	5	11
受取配当金	150	150
為替差益	463	346
その他	61	46
営業外収益合計	680	553
営業外費用		
支払利息	815	1,358
支払手数料	3,202	1,769
その他	290	-
営業外費用合計	4,307	3,127
経常損失(△)	△73,011	△33,611
税引前四半期純損失(△)	△73,011	△33,611
法人税、住民税及び事業税	1,358	1,352
法人税等合計	1,358	1,352
四半期純損失(△)	△74,369	△34,964

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	186,855	18,922	205,778	—	205,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	186,855	18,922	205,778	—	205,778
セグメント損失(△)	△10,778	△6,061	△16,840	△52,544	△69,384

(注)1 調整額に記載されているセグメント損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△52,544千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	210,599	20,425	231,025	—	231,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	210,599	20,425	231,025	—	231,025
セグメント利益又は損失(△)	12,440	2,162	14,603	△45,640	△31,037

(注) 1 調整額に記載されているセグメント損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△45,640千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。